

ほっこりだより

東向日キリスト教会

京都府向日市森本町下森本6-5

Tel: 075 (931) 5934

http://www.h-mukou-ch.jp/

第62号 2012年9月2日 発行

インドとキリスト教

◎インドのイメージは何でしょうか。

まず、暑い。インドカレー。仏教。インドス文明の古い国、などでしょうか。少しベールに包まれた未知の国のようです。国土の面積は、日本の十倍。人口も十二億人と日本の十倍です。この人的資源をもとに日本から自動車産業が早くから進出しています。また、綿織物や鉱物資源も輸出されています。

◎インドの新しい顔

インドではソフトウェア産業の優秀な人材が揃っていて、アメリカなど先進国に進出しています。NASAの技術者の一割はインド人が占め、その他の企業に沢山進出しています。

また、医療技術は飛躍的に進歩しており、安価で高い技術を誇っています。現在、六万人の医師がアメリカ、イギリス、カナダなどの医療機関で働いているそうです。例えばイギリスでは外科医の四十%がインド人医師で占められています。

(ウィキペディアより抜粋)

◎インドの宗教は何?

インドは仏教が誕生した国です。二千五百年ほど前に生まれた仏陀は、人生の苦悩を解決するため法を説きました。しかし、五世紀から十二世紀の間に衰退し、現在では全人口の〇・八%となっています。その代わりに、ヒンズー教が八十%、

イスラーム教が十一・六%、そしてキリスト教が二・六%となっています。宗教心の豊かな国ですから、無神論者は見当たらないようです。

◎インドに伝えられたキリスト教

仏教の国にキリスト教の信者が日本より多いのです。(日本は1%以下) 少し不思議な思いがしますが、実は二千年前、イエス・キリストの弟子の一人、トマスがインドに渡りました。それは、当時、インドには沢山のユダヤ人が住んでいたのです。その人々にキリストの教えを伝えたのです。



インド全国 INDIA

キリストが、「全世界に出て行き、すべて造られた者に福音(神の良い知らせ)を宣べ伝えよ。」と命じられたことを弟子達は守ったのです。

トマスが最初に上陸したコーチンの町には現在、沢山の教会が建てられています。トマスはやがてインドのチェンナイで殉教しましたが、その跡地に教会が残されています。

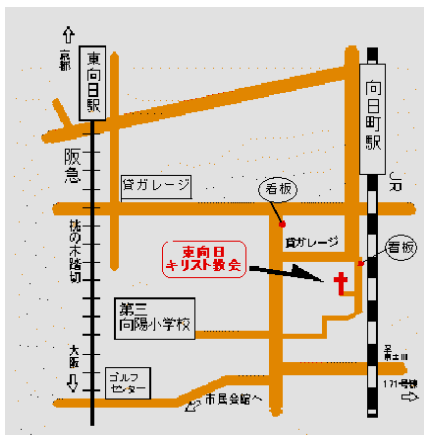
◎将来性を有するインド

開発途上の国ですが、日本と親しい国です。歴代の日本の首相が訪問しています。西国の得意とするものを出し合って平和で豊かな国家を建設することを願いたいと思います。

トマス教会↓



教会案内図です



俳句

夾竹桃暑さに負けず咲にけり
そよ風が伸びた稲をなびかせて
Y子

短歌

炎天の線路脇より出る草よ
どこでも咲くことを誇りに
十八の誕生日のハイヒール
夢の場所まで行けますように
君と居て三十分が五分にも感じる
これが相対性理論
古都葉
古都葉
夕暮れて何か淋しい心もち
主のお名前を胸にいだいて
富美

古典芸能や民謡を 楽しみます

教会の印象は、どうしても堅い、難しいと思われています。それは昔からの先入観があるのかも知れませんが、もちろん、神様を中心とした集まりですが、実は、教会は楽しいところです。ぜひ、一度お出かけください。ご紹介したいと思います。

◎毎年、春のお茶会があります。

それほど正式な茶会ではありませんが、「立礼式」で椅子に座って茶をいただきます。教会と茶道は関係が深く、その所作に似たところがあります。踊り口や濃茶の回し飲みなどに見られます。そのような話の後、讃美歌に茶道の心を歌詞にしたものを皆で歌います。

一節を紹介します

「じり口からは、 じつべをあげて

じつべを開いて、 茶室に入り

一味同心で じつべが一つ

イエス様をじつべ 喜び迎えん

これは讃美歌「いつくしみ深き」のメロディーです。ぜひ口ずさんでください。



◎落語会を楽しみます。

落語は日本の代表的な古典芸能の一つです。落語で聖書の物語を語ることは楽しく、心このころではないでしょうか。現在、プロのクリスチャンの落語家が活躍していますが、素人の落語も聴いて下さい。



今年の六月に近くの牧師で昔、大学の落ち研で活躍した方に「子は鎧(かすがい)」という楽しい落語を聞かせていただきました。最後の落ちのところで皆がごとと笑ってしまいました。また、計画しますので、お出かけください。

◎三味線で唱歌や民謡を賛美します。

日本人は子供の頃から唱歌や民謡に親しんでいます。一番好まれる唱歌は「ふるさと」だそうです。また、「やぐら、やぐら」は誰でも知っています。今回、唱歌や民謡の歌詞を変えて三味線演奏で歌ってみました。

少し、紹介させていただきます。

やぐら、やぐらの曲で・・・

「ホサナ、ホサナ、 主イエスの愛は

わたしのくんだり、 信じる者」

いのちを与え、とわに、とわに 天国まで
(ホサナとは今救って下さいの意味)

また、民謡「黒田節」の曲で・・・

「このころの貧しい 人はみな

さいわいなりと 人は言う

天の御国は その人の

ものになると 教えます

どうぞ、ご興味のある方はお出かけ下さるようご案内申し上げます。また、普通の讃美歌も歌っています。



イベント紹介

- ◎9月16日敬老の日の集い
80歳以上の方々のお祝い
をします。
- ◎10月21日教会バザー。
午後1時から恒例のバザー
を行います。
- ◎11月11日ホルンコンサ
ート。 宮田四朗氏を招い
て楽しいコンサート。